

# 謹賀新年

2013年



笑い節 (動物園正門)



梅結び 「そぎ型」に笑い節仕立てワラ部に梅結び (動物園正門)



ねじれいぼ結び



「寸胴型」竹に梅結び (水生物園七井門)

おとこ結び



「そぎ型」に梅結び (資料館入り口)



松飾りと輪飾り (童心居門)



松竹梅のお飾り (水生物園弁天門)

門松 (かどまつ) とは、正月に家の門の前などに立てられる一対になった松や竹の正月飾りです。木のこずえに神が宿ると考えられていたことから、門松は年神を家に迎え入れるための依り代という意味合いがあるとされています。

地域により門松の様式や設置期間に差がありますが12月31日に飾る「一夜飾り」や29日に立てる事を「九松」と言い「苦待つ」と捉え避ける事が多いようです。

井の頭自然文化園では3対の門松を作りました。動物園正門と資料館入り口には先の尖った「そぎ型」で、水生物園七井門は真横に切った「寸胴型」に作りました。また正門の門松は竹の節を残して切り「笑い節」に仕立てました。

松と竹の受けのワラは丁寧にワラの袴を取り編みこんで荒縄で結んでいます。荒縄の結びは「ねじれいぼ結び」や「おとこ結び」梅の花形の「梅結び」を使い分けているので違いをご覧ください。

「梅結び」は松竹梅を意味し竹に荒縄で結んだものもあります。

12月27日に飾り1月14日まで展示予定です。お楽しみください